



届出統計調査  
総務大臣届出済

この調査は、統計法第24条に基づき、総務大臣に届出を行った統計調査です。  
統計法に基づき、調査票は統計目的以外には絶対に使用しません。

# 大阪市子ども・子育て支援に関するニーズ調査 (就学児童)

## ■回答にあたってのお願い

回答は、この調査票に直接ご記入いただく方法と、WEB調査でご回答いただく方法があります。

いずれかの方法でご回答ください。

- 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
- 調査票は、おさんの保護者の方がご記入ください。
- 本調査の他に、就学前児童(0歳児～5歳児)の保護者の方を対象とした「大阪市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」(就学前児童用)も並行して実施しております。両方の調査票を受け取られた方は、可能な限り、両方の調査票にご回答をお願いします。

### この調査票に直接ご回答いただく場合…

- 回答は、選択肢の番号に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので、注意書きにしたがってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、その後ろにある( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印にしたがってご記入ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 大阪市内に転出されている場合は、ご回答いただかなくてかまいません。お手数ですが、調査票の処分をお願いします。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、調査票のみを同封の返信用封筒に入れて、令和5年12月27日(水)までにご投函ください。(切手は不要です)

### WEB調査でご回答いただく場合…

○パソコン、タブレット、スマートフォンで調査専用画面にアクセスしていただき、下記のIDとパスワードを入力の上、画面の指示に従ってご回答ください。なお、回答の際にはパケット通信料がかかりますので、ご承知の上ご協力ください。

◇調査専用画面URL <https://src.webcas.net/form/pub/src2/2710042>

【ID】

【パスワード】



\*ID・パスワードは、調査専用画面に入るための認証キーです。回答者を特定するためのものではありません。

## ■ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

【お問合せ先】(電子メール・WEBでのお問い合わせの場合、回答に時間がかかる場合があります。)

◇大阪市子ども・子育て支援に関するニーズ調査等コールセンター  0120-110-532

受付時間: 月～金曜日(土曜・日曜・祝日除く)午前9時～午後5時

◇電子メール: ask@surece.co.jp

◇WEB問合せ: <https://src.webcas.net/form/pub/src2/271004q>



お急ぎの場合はコールセンターにお問い合わせください。

調査実施主体: 大阪市子ども青少年局企画部企画課(企画グループ)

〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします。

問1 あて名のお子さんがお住まいの区をお答えください。(〇は1つ)

1 北区	2 都島区	3 福島区	4 此花区	5 中央区	6 西区
7 港区	8 大正区	9 天王寺区	10 浪速区	11 西淀川区	12 淀川区
13 東淀川区	14 東成区	15 生野区	16 旭区	17 城東区	18 鶴見区
19 阿倍野区	20 住之江区	21 住吉区	22 東住吉区	23 平野区	24 西成区

問2 あて名のお子さんからみて、この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(〇は1つ)

1 母親	2 父親	3 その他 ( )
------	------	-----------

問3 あて名のお子さんの生年月を記入してください。

平成・西暦 ( ) 年 ( ) 月生まれ

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、一番下の子の年齢(令和5年(2023年)4月1日現在の年齢)を記入してください。

( ) 人 一番下の子の年齢 ( ) 歳

問5 あて名のお子さんからみて、一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所(30分以内程度に行き来できる範囲)に祖父母が住んでいますか。(〇はいくつでも)

1 父と母と一緒に住んでいる	2 父と一緒に住んでいる(父子家庭)
3 母と一緒に住んでいる(母子家庭)	4 祖父と一緒に住んでいる
5 祖母と一緒に住んでいる	6 祖父が近所に住んでいる
7 祖母が近所に住んでいる	
8 その他 ( ) と一緒に住んでいる	

問6 日頃、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。(〇はいくつでも)

1 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる.....	→ 問6-1へ
2 緊急時もしくは用事的时候にはご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる.....	
3 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる.....	→ 問6-2へ
4 緊急時もしくは用事的时候には子どもをみてもらえる友人や知人がいる.....	
5 いずれもない.....	→ 問7へ

問6で「1」または「2」を選んだ方におうかがいします。

問6-1 こどもをみてもらっていることに対する気持ちを教えてください。（〇はいくつでも）

- 1 ご自身や配偶者の親、親せきの身体的・精神的な負担や時間の制約を心配することなく、安心してこどもをみてもらえる
- 2 ご自身や配偶者の親、親せきの身体的負担が大きく心配である
- 3 ご自身や配偶者の親、親せきの時間を大きく制約するため心配である
- 4 ご自身や配偶者の親、親せきの精神的な負担が大きく心配である
- 5 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 6 こどもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 7 その他（ ）

問6で「3」または「4」を選んだ方におうかがいします。

問6-2 こどもをみてもらっていることに対する気持ちを教えてください。（〇はいくつでも）

- 1 友人や知人の身体的・精神的な負担や時間の制約を心配することなく、安心してこどもをみてもらえる
- 2 友人や知人の身体的負担が大きく心配である
- 3 友人や知人の時間を大きく制約するため心配である
- 4 友人や知人の精神的な負担が大きく心配である
- 5 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 6 こどもの教育や発達にふさわしい環境であるか、少し不安がある
- 7 その他（ ）

問7 あて名のお子さんから見て、お子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。（〇は1つ）

- 1 父母ともに
- 2 主に母親
- 3 主に父親
- 4 主に祖父
- 5 その他（ ）

問8 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる場所はありますか。（〇は1つ）

- 1 ある
- 2 ない → 問9へ

問8で「1 ある」を選んだ方におうかがいします。

問8-1 気軽に相談できる人や場所などを教えてください。（〇はいくつでも）

- 1 配偶者
- 2 ご自身や配偶者の親、親せき、（同居している）家族
- 3 友人や知人
- 4 近所の人
- 5 小学校の先生
- 6 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）や留守家庭児童対策事業（学童保育）などの指導員
- 7 民生委員・児童委員、主任児童委員
- 8 区役所・子ども相談センターの子育てや教育相談の窓口
- 9 NPOなどの子育て支援に関わるスタッフ
- 10 ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾などの習い事の先生
- 11 インターネットの交流サイト
- 12 その他（ ）

封筒のあて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします。  
 (ひとり親家庭の場合は、母親または父親のいずれかのみお答えください。)

問9 母親、父親それぞれの現在の就労状況についてお答えください。(母親・父親いずれも○は1つ)  
 ※就労には、自営業や自営業を手伝っている場合も含まれます。

	母親	父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
これまで就労したことがない	6	6

※フルタイムとは、1週5日程度・1日8時間程度の就労をいいます。

パート・アルバイトなどとは、フルタイム以外の就労をいいます。

↓  
問11へ

問9で「1」～「4」を選んだ方(休業中の方も含む)におうかがいします。  
 (「5」「6」のいずれかに○をつけた方は、問11へお進みください。)

問9-1 1週間にどのくらいの日数働きますか。また、1日当たりどのくらいの時間働きますか。

( )内に具体的な数字を記入してください。

※不規則な場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※今休んでいる方は、休みに入る前の状況についてお答えください。

母親	1週当たり( )日	1日当たり( )時間
父親	1週当たり( )日	1日当たり( )時間

問9-2 家を出る時間と帰宅時間をご記入ください。

※時間が不規則な場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。今休んでいる方は、  
 休みに入る前の状況についてお答えください。

※時間は「18:00」のように、24時間制で記入してください。

母親	家を出る時間( : )	帰宅時間( : )
父親	家を出る時間( : )	帰宅時間( : )

問9で「3」または「4」を選んだ方(パート・アルバイトの方)におうかがいします。

問10 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親・父親いずれも○は1つ)

	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイトなどで働き続けることを希望	パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい
母親	1	2	3	4
父親	1	2	3	4

問9で「5」または「6」を選んだ方（仕事をお持ちでない方）におうかがいします。

問11 働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に○をつけ、( )内に具体的な数字を記入してください。（母親・父親いずれも○は1つ）

ははおや 母親	1 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)	3 <u>3</u> すぐにも、もしくは1年以内に働きたい ↓ 希望する就労形態（「ア」か「イ」に○）
	2 1年より先、一番下のこどもが、 ( )歳になったころに働きたい	ア フルタイム (1週5日程度、1日8時間程度の就労) イ パートタイム、アルバイトなど (日数、時間を( )に数字でご記入ください) 1週当たり( )日 1日当たり( )時間
ちちおや 父親	1 子育てや家事などに専念したい (働く予定はない)	3 <u>3</u> すぐにも、もしくは1年以内に働きたい ↓ 希望する就労形態（「ア」か「イ」に○）
	2 1年より先、一番下のこどもが、 ( )歳になったころに働きたい	ア フルタイム (1週5日程度、1日8時間程度の就労) イ パートタイム、アルバイトなど (日数、時間を( )に数字でご記入ください) 1週当たり( )日 1日当たり( )時間

問11で、「2」または「3」を選んだ方におうかがいします。

問12 働きたい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 働かないと、暮らしていけなくなるため	2 将来への備えのため（こどもの教育費、老後の備えなど）
3 仕事を通じて、自分の能力を発揮し、向上させたいため	4 人間関係を広げたいため
5 配偶者の収入だけに依存したくないため	6 働かないと、社会から孤立しているように感じるため
7 その他( )	

問12-1 就労希望がありながら、現在働いていない最大の理由は何ですか。（○は1つ）

1 「放課後の居場所を提供する事業（※）」などのサービスの利用時間や条件が合わない	2 働किながら子育てできる適当な仕事がない
3 自分の知識、能力にあう仕事がない	4 配偶者・パートナーの育児・家事への協力が得られない
5 働くことに家族や親せきの理解が得られない	6 その他( )

※放課後の居場所を提供する事業

(1) 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動）

放課後や長期休暇、休校日等に市立小学校において、こどもたちの安全・安心な活動場所を提供するものです。保護者の就労の有無に関わらず、全ての小学生が利用できます。

(2) 留守家庭児童対策事業（学童保育）

地域によっては学童保育などとよばれています。保護者が仕事などで昼間に自宅にいない場合に、指導員のもと、こどもの生活の場を提供するものです。利用の際は、一定の利用料が発生します。



問13-3 現在利用している事業にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

希望するサービス内容及び負担するに当たり妥当と思う金額についてご記入ください。

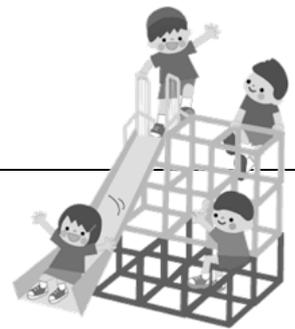
1	朝の利用時間を延長する 希望する延長時間 ( ) 時～	妥当と思う金額 ( ) 円/月
2	夕方の利用時間を延長する 希望する延長時間 ( ) 時まで	妥当と思う金額 ( ) 円/月
3	習い事(英語や習字など) 希望する習い事 ( )	妥当と思う金額 ( ) 円/回
4	おやつなど補食の提供 ( ) 円/回	
5	土曜日に開所する	
6	日曜日や祝日に開所する	
7	施設や設備を改善する	
8	指導内容を工夫する	
9	その他提供してほしいサービス 内容 ( )	妥当と思う金額 ( ) 円/回
10	特になし	

⇒問14へ

問13で「2 利用していない」を選んだ方におうかがいします。

問13-4 利用していない最大の理由は何ですか。(〇は1つ)

1	こどもが希望していない
2	指導員等の指導内容や活動プログラムが不十分
【以下、お子さんの身の回りの世話を主にしている方が、】	
3	現在就労していないから
4	就労しているが、放課後の居場所を提供する事業を知らなかったから
5	就労しているが、近くに放課後の居場所を提供する事業がないから
6	就労しているが、放課後の居場所を提供する事業に空きがないから
7	就労しているが、放課後の居場所を提供する事業の開所時間が短いから
8	就労しているが、利用料がかかるから
9	就労しているが、こどもは放課後の習い事をしているから
10	就労しているが、放課後の短時間ならば、こどもだけでも大丈夫だと思うから
11	就労しているが、他の施設に預けているから
12	放課後の居場所を提供する事業では障がい児対応ができていないから
13	祖父母や親せきや近所の人、友人等がみてるから
14	その他 ( )





すべての方におうかがいします。

問14 あて名のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方に、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

- 1 児童いきいき放課後事業（「いきいき」活動） → 小学（ ）年生まで利用したい
- 2 留守家庭児童対策事業（学童保育） → 小学（ ）年生まで利用したい
- 3 クラブ活動など
- 4 習い事など
- 5 祖父母宅や友人・知人宅
- 6 現時点ではわからない
- 7 その他（ ）
- 8 利用を希望するものは特にな

病児・病後児の対応についておうかがいします。

問15 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、「放課後の居場所を提供する事業」に参加できなかった場合の対処方法で、あてはまる番号に〇をつけ、その日数を（ ）内に記入してください。  
※半日程度についても1日としてカウントしてください。

対処方法（あてはまる番号に〇）	日数（年間）
1 父親が仕事を休んだ	( ) 日
2 母親が仕事を休んだ	( ) 日
3 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった (同居している場合も含む)	( ) 日
4 働いていない父親か母親が子どもをみた	( ) 日
5 保育所や医療機関などに併設する病気のこどものための保育施設 を利用した(病児・病後児保育事業)	( ) 日
6 家事育児代行サービスを利用した	( ) 日
7 子どもだけで留守番をさせた	( ) 日
8 その他( )	( ) 日
9 学校を休まなかった	( ) 日

→ 問16 へ

問15で「1」「2」を選ばれた、こどもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。

問15-1 そのときに「できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

(〇は1つ) 希望がある方は( )内に具体的な数字を入れてください。

※病気や病気の回復期のこどものための保育施設などの利用には一定の利用料がかかり、また利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

- 1 できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい → ( ) 日 → 問15-2 へ
- 2 利用したいと思わない → 問15-3 へ

問15-1で「1 できれば病気のこどものための保育施設などを利用したい」を選んだ方におうかがいします。

問15-2 利用する場合、下記のいずれの施設を利用したいと思われませんか。(〇はいくつでも)  
 ※現在、大阪市内で行っていないサービスも含んでいます。

- 1 病氣中・病氣回復期のこどもの両方に対応できる保育施設(病児保育施設)
- 2 病氣の回復期のこどものための保育施設(病後児保育施設)
- 3 民間事業者などが自宅を訪問し、病氣のこどもをみてるサービス(訪問型病児保育)
- 4 その他( )

⇒問16へ

問15-1で「2 利用したいと思わない」を選んだ方におうかがいします。

問15-3 利用したいと思わない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 病氣のこどもを家族以外の人にみてもらうのは不安である
- 2 病氣のこどもは家族がみるべきである
- 3 サービスの質に不安がある
- 4 施設のある場所や利用できる時間・日数など、サービスの使い勝手がよくない
- 5 利用料がかかる、高い
- 6 利用料がわからない
- 7 父母が仕事を休んで対応できるため
- 8 その他( )
- 9 特に理由はない

不定期な一時預かりについておうかがいします。

問16 この1年間に、私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由に、こどもを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。あてはまる番号に〇をつけ、1年間のおおよその利用日数を( )内に記入してください。

※こどもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

利用したサービス(あてはまる番号に〇)	日数(年間)
1 ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)	( )日
2 ファミリー・サポート・センター事業(大阪市の委託を受けたセンターに登録している地域住民がこどもを預かる事業)	( )日
3 家事育児代行サービス	( )日
4 その他( )	( )日
5 利用していない	



問17 冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」年間何日くらい家族以外に  
 みてもらう必要があると思いますか。

「利用したい」「利用する必要はない」のどちらかに○をつけてください。

また、利用したい場合、その利用目的ごとに( )内に泊数と、合計欄にその泊数の計を記入してください。

※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

1	利用したい	年間	合計泊数 ( )	泊
	〈利用したい目的〉			
ア	冠婚葬祭		( )	泊
イ	保護者や家族の育児疲れ・不安		( )	泊
ウ	保護者や家族の病気		( )	泊
エ	その他		( )	泊
2	利用する必要はない			

子どもが心身ともに健やかに成長するための取組についておうかがいします。

問18 平日の放課後および休日の日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものをお答えください。

選択肢1～14から、平日は時間帯ごとにあてはまる番号をそれぞれ1つずつ、休日は3つ選んで、次の表  
 にご記入ください。

平日 (各時間帯、記入する選択肢番号は1つ)				休日 (記入する選択肢番号は3つまで)		
14～16時	16～18時	18～20時	20時以降			

【 選 択 肢 】

- 1 学校にいる (授業、遊び)
- 2 保護者や祖父母など、家族・親せき (大人) と過ごす
- 3 兄弟姉妹など、家族・親せき (子ども) と過ごす
- 4 屋内で友達と遊ぶ
- 5 屋外で友達と遊ぶ
- 6 家で勉強する
- 7 家でひとりで過ごす (勉強以外)
- 8 学習塾や習い事に行っている
- 9 クラブ活動やスポーツ活動をしている
- 10 「放課後の居場所を提供する事業」に参加している
- 11 子ども・子育てプラザなど公共の施設にいる
- 12 ファミリー・サポート・センター事業を利用している
- 13 子ども会活動をしている
- 14 その他 ( )



問19 あて名のお子さんは地域のグループ活動やイベントなどに参加されたことがありますか。  
 また、今後参加させたいと思っている地域のグループ活動やイベントの種類は何ですか。  
 (それぞれの番号に○をしてください。○はいくつでも可)

内 容	参加したことがある活動	今後参加させたい活動
スポーツ活動	1	1
文化・芸術活動	2	2
ボランティア活動	3	3
ものづくりなど体験学習活動	4	4
キャンプなどの野外活動	5	5
高齢者訪問などの社会福祉活動	6	6
ホームステイなどの国際交流や多文化共生に関する活動	7	7
子ども会活動	8	8
リサイクル活動などの環境分野での社会貢献活動	9	9
自然観察などの環境教育活動	10	10
お祭り(盆踊りや区民まつり)などの地域に根ざした活動	11	11
仕事・職業体験	12	12
その他( )	13	13
参加したことがない	14	

⇒ 問19で「14 参加したことがない」を選んだ方におうかがいします。

問19-1 お子さんがこれまで参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 活動に関する情報がなく、参加しにくい	2 知り合いなどがおらず、参加しにくい
3 はじめての者が参加しにくい雰囲気がある	4 参加の時間帯が合わない
5 費用がかかる	6 活動内容に興味や関心がない
7 こどもが参加したい活動がない	8 親として参加させたい活動がない
9 活動への協力や送迎が難しい	10 その他( )

問20 お住まいの地域は、こどもにとってさまざまな体験活動に参加しやすい環境であると思いますか。(○は1つ)

1 参加しやすいと思う	2 どちらかというに参加しやすいと思う
3 どちらかというに参加しやすいとは思わない	4 参加しやすいとは思わない

問21 大阪市では、こどもたちのあこがれの人物や、作品などに接する機会、興味や関心のあることに触れる機会などを通じて、さまざまな分野で、こどもたちの個性や創造性をはぐくむ体験機会を提供する事業(こども夢・創造プロジェクト)を実施しています。このような事業に、お子さんを参加させてみたいと思いますか。(○は1つ)

1 参加させてみたい	2 参加させてみたいとは思わない.....⇒問21-2へ
------------	------------------------------

⇒ 問21で「1 参加させてみたい」を選んだ方におうかがいします。

問21-1 どのような分野の体験活動に参加させてみたいと思いますか。(○はいくつでも)

1 スポーツ	2 文化	3 ものづくり	4 演劇
5 科学	6 まちづくり・建築	7 その他( )	

⇒問22へ

問21で「2 参加させてみたいとは思わない」を選んだ方におうかがいします。

問21-2 その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |               |           |                |
|---------------|-----------|----------------|
| 1 参加する時間がない   | 2 実施場所が遠い | 3 魅力あるプログラムがない |
| 4 こどもが参加したがない | 5 その他 ( ) |                |

すべての方におうかがいします。

問22 お住まいの地域におけるこどもの遊び場に関して満足していますか。(〇は1つ)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 満足している……………→問23へ | 3 わからない……………→問23へ |
| 2 満足していない          |                   |

問22で「2 満足していない」を選んだ方におうかがいします。

問22-1 お住まいの地域のこどもの遊び場について日ごろ不満に感じることは何ですか。(〇はいくつでも)

- |                                     |                          |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1 近くに遊び場がない                         | 2 雨の日に遊べる場所がない           |
| 3 思い切り遊ぶために十分な広さがない                 | 4 遊具などの種類が充実していない        |
| 5 不衛生である(ゴミの不法投棄など)                 | 6 いつも閑散としていて寂しい感じがする     |
| 7 遊具などの設備が古くて危険である                  | 8 緑や水辺などこどもが自然にふれあう場が少ない |
| 9 遊び場やその周辺の環境が悪くて安心して遊べない(見通しが悪いなど) |                          |
| 10 遊び場の設備が、障がいがある人の利用に配慮されていない      |                          |
| 11 遊び場周辺の道路を通行する自動車が多く危険に感じることもある   |                          |
| 12 遊び場に行ってもこどもと同じ歳くらいの遊び仲間がない       |                          |
| 13 その他 ( )                          |                          |

子育て全般についておうかがいします。

問23 お住まいの地域で、こどもが巻き込まれる事故や犯罪が増加していると感じますか。(〇は1つ)

- |       |        |         |
|-------|--------|---------|
| 1 感じる | 2 感じない | 3 わからない |
|-------|--------|---------|

問24 子育てについてどのように感じていますか。それぞれあてはまる数字に1つだけ〇をつけてください。

A 子育てを楽しみと感じますか。

1	2	3	4	5
たの 楽しいと感じない			たの 楽しいと感じる	

B 子育てをつらいと感じますか。

1	2	3	4	5
つらいと感じない			つらいと感じる	

問25 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。

(1) こどもに関すること (〇はいくつでも)

1 病気や発育・発達に関すること	2 障がいに関すること
3 食事や栄養に関すること	4 子育てのことがよくわからないこと
5 こどもとの接し方に自信が持てないこと	6 こどもと過ごす時間が十分取れないこと
7 こどもの教育に関すること	8 こどもの学力に関すること
9 こどもの友達つきあい(いじめなどを含む)に関すること	10 こどもの不登校など
11 その他 ( )	12 特にない

(2) ご自身に関すること (〇はいくつでも)

1 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
2 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
3 自分の子育てについて、親せき、近隣の人、職場など周りの人の目が気になること
4 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
5 仕事との両立が難しいこと
6 自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分取れないこと
7 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8 子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと
9 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10 子育てにかかる出費がかさむこと
11 住居が狭いこと
12 その他 ( )
13 特にない

問26 ご自身の子育てが、地域のひとや社会に支えられていると感じますか。(〇は1つ)

A 支えられていると感じますか。

1 感じる	2 感じない
-------	--------

B 誰に支えられていると感じますか。

枠内の選択肢の中から選び番号を記入してください。(複数回答可)

ばんごう 番号	
------------	--

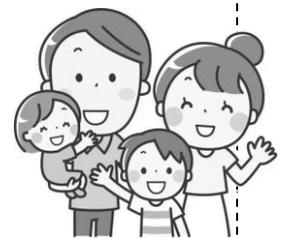
B 誰に支えられたいと感じますか。

枠内の選択肢の中から選び番号を記入してください。(複数回答可)

ばんごう 番号	
------------	--

【 選 択 肢 】

- 1 近所の人
- 2 同じ世代の子どもを持つ保護者
- 3 民生委員・児童委員、主任児童委員や町会などの地域団体の人
- 4 子育て支援活動を行っているNPOなどの人
- 5 子育て支援などに関わる施設の職員
- 6 区役所(市役所)の職員
- 7 その他 ( )



仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についておうかがいします。

問27 平日、子どもが起きている間に子どもと一緒に過ごす時間は、1日当たりどれくらいですか。

ははおや 母親	( ) 時間 ( ) 分	ちちおや 父親	( ) 時間 ( ) 分
------------	--------------	------------	--------------

問28 1日当たり、家事をどれくらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

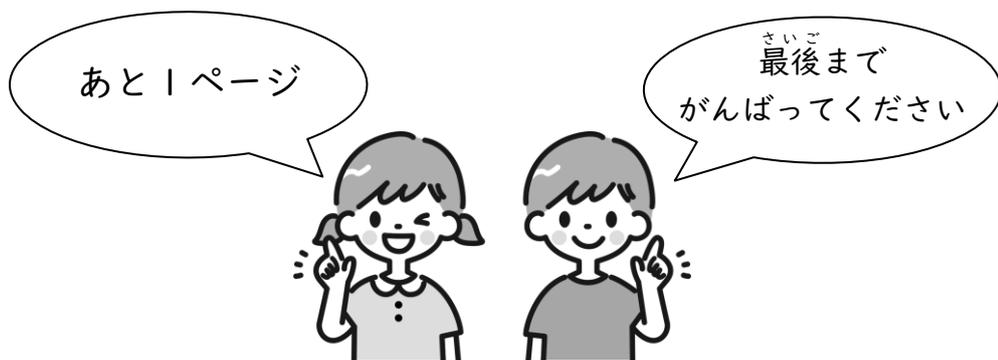
ははおや 母親	( ) 時間 ( ) 分	ちちおや 父親	( ) 時間 ( ) 分
------------	--------------	------------	--------------

問29 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは何ですか。（〇はいくつでも）

- 1 残業や出張が入ること
- 2 子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと
- 3 配偶者・パートナーの協力が得られないこと
- 4 家族や親せきの理解が得られないこと
- 5 職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など）
- 6 職場の理解や協力が得られないこと
- 7 子どものほかに面倒をみなければならない人がいること
- 8 子どもの面倒をみってくれる保育所や放課後の居場所などがみつからないこと
- 9 子どもと接する時間が少ないこと
- 10 その他 ( )

問30 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。（〇は1つ）

- 1 感じる      2 まあまあ感じる      3 あまり感じない      4 感じない      5 わからない



ぎょうせい ようぼう  
行政サービスへの要望についておうかがいします。

問31 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（〇はいくつでも）

- 1 おやこが安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する
- 2 おやこが安心して集まれる保育所や幼稚園の運動場の開放を増やす
- 3 おやこが安心して集まれるつどいの広場などの屋内の施設を整備する
- 4 子連れでも安心して出かけられるよう、おむつ替えや授乳のためのスペースづくりや、車道と歩道の段差解消（適正な段差へ修正）などの「子育てのバリアフリー化」に取り組む
- 5 子育てに困ったときの相談体制を充実する
- 6 子育て支援に関する情報提供を充実する
- 7 子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ親子教室の開催回数増加と内容の充実を図る
- 8 子育てサークル活動への支援を充実する
- 9 保育所など子どもを預ける施設を増やす
- 10 こどもの一時預かりなどのサービスを充実する
- 11 誰でも気軽に利用できるNPOなどによる子育て支援サービスに対する支援を行う
- 12 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する
- 13 こどもの安全を確保する対策を充実する
- 14 子育ての講座など子育てについて学べる機会をつくる
- 15 育児休業給付、児童手当のさらなる拡充など、子育て世帯への経済的援助の拡充
- 16 市営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援に取り組む
- 17 こどもの居場所として子ども食堂など食事提供がある事業を充実する
- 18 こどもの居場所として学力向上のために学習支援事業を充実する
- 19 その他（ ）
- 20 特になし

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。


設問は以上です。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。お手数ですが、同封の返信用封筒に入れ、令和5年12月27日（水）までにご投函ください。